

総務
文教厚生
産業建設

委員会NEWS

平成17年度

一般会計予算

総務関係

●主たる事業

- △合併50周年記念事業
- △防災マニュアル作成委託
- △自主防災組織結成支援事業
- △総合行政情報システム更新事業
- △地域情報化推進事業
- △粗大ゴミ戸別回収(CATV補助金)

●審査内容の主なもの

質問 町税が前年度に比べ増収となるのはどうしてか。
 答弁 平成17年度においては景気回復が弱く、緩やかなデフレ状況が継続する見込みで、個人町民税の伸びは期待できないものの、土地・家屋の固定資産税の伸びが見込まれます。法人町民税においても若干の回復傾向が見込まれることから、町税総額で前年度対比1・5%

の増となっています。
 質問 粗大ゴミを戸別回収方式に変更するのはどうしてか。
 答弁 現在のステーション方式では道路にゴミが氾濫し、通行に支障を来している場所があります。指定物以外の混入と事業所ゴミ、他市町からのゴミの投棄をなくすため、周知期間を置いて8月から実施し粗大ゴミの減量を進める予定です。

質問 三位一体の改革の影響と財源不足策は。
 答弁 国庫補助負担金の廃止・縮減や臨時財政対策債を含めた普通交付税の減額と税源移譲額を差し引きすると、1億2,700万円の歳入減になると見込んでいます。財政調整

質問 町債残高は。
 答弁 中期財政見通しでは平成19年度に町債残高が110億円強とピークを迎える見通しを立てていますが、今後学校施設の耐震診断結果に基づき事業量を把握しない

基金から3億円を取り崩すとともに、普通交付税を前年度に比べ7,800万円増額計上しています。

とどうなるか分かりません。



町営住宅